



産業廃棄物・災害廃棄物の受入状況

【産業廃棄物】

産業廃棄物については、埋立開始(平成28年(2016年)3月)から令和3年(2021年)2月末までに、25,943.46トンを受け入れています。

品目別では、多い順に「がれき類」が9,086.72トン(35.0%)、「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」が5,824.15トン(22.4%)、「汚泥(無機性)」が2,440.49トン(9.4%)となっています。

【災害廃棄物】

令和2年7月豪雨で発生した災害廃棄物については、令和3年(2021年)2月末までに、県内14市町村から10,646.08トンを受け入れました。

熊本県では、令和3年(2021年)12月までに公費解体を完了するという目標を掲げており、「エコアくまもと」では令和3年度(2021年度)も引き続き受け入れることとしています。

【産業廃棄物の受入状況】(R3.2月末現在)

(単位:t)

品目	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度 (4~2月分)	計
燃え殻		10.95	906.75	82.57	61.12	199.29	1,260.68
汚泥(無機性)		105.75	15.70	208.32	481.93	1,628.79	2,440.49
汚泥(有機性)		155.77	29.32	3.39	46.04	426.62	661.14
廃プラスチック類		34.45	424.93	691.33	717.61	338.24	2,206.56
シュレッダーダスト		49.98	657.52	163.08	470.91	718.06	2,059.55
紙くず					78.96	20.37	99.33
木くず		0.58	2.17		132.32		135.07
動植物性残さ			110.64	185.21	179.68	15.40	490.93
ゴムくず		0.08					0.08
金属くず			1.61		0.05		1.66
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	16.22	1,212.27	1,629.80	977.63	955.44	1,032.79	5,824.15
廃石膏ボード	18.22	35.30	90.23	202.42	169.40	204.25	719.82
石綿含有廃棄物 (非飛散性アスベスト)		9.45	198.79	201.25	160.58	129.64	699.71
鉱さい			2.54	65.76	93.01	2.50	163.81
がれき類		333.94	4,485.07	169.48	1,458.91	2,639.32	9,086.72
ばいじん					0.92	1.05	1.97
廃石膏綿等				10.84			10.84
政令13号廃棄物		45.40	15.35	20.20			80.95
合計	34.44	1,993.92	8,570.42	2,981.48	5,006.88	7,356.32	25,943.46

【災害廃棄物の受入状況】(R3.2月末現在)

(単位:t)

品目	R2(2020)年度								計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
ガラス陶磁器・がれき類	11.81	733.75	559.46	191.30	67.56	62.99	55.34	172.03	1,854.24
混合廃棄物	6.45	680.44	1,531.45	543.83	30.36	52.34	530.77	821.25	4,196.89
スレート、サイディング、石膏ボード	0.97	1,086.10	905.15	348.30	296.82	453.84	444.99	416.03	3,952.20
泥壁									
断熱材、発泡スチロール		88.14	48.39	12.71	23.34	8.32	6.12	7.75	194.77
木毛板			0.71				11.01	5.66	17.38
燃え殻									
廃プラスチック類		0.96							0.96
石綿含有 金属を含む大型ごみ			232.08	53.77	16.84		61.66	65.29	429.64
合計	19.23	2,589.39	3,277.24	1,149.91	434.92	577.49	1,109.89	1,488.01	10,646.08

第15回安全推進委員会

2月10日(水)午後4時から「エコアくまもと」で第15回安全推進委員会を開催し、産業廃棄物等の受入状況や令和2年7月豪雨により発生した災害廃棄物の受入状況、周辺民家井戸等水質調査について説明しました。

委員の皆様からは以下のような質問がありました。

※主な質疑

Q: 汚泥の搬入が増えた要因は?

A: 県内の工場敷地内の調整池の整備工事で発生した浚渫土が搬入されたことによる。なお、汚泥については、すべて溶出試験等を実施してもらい、受入基準を満たすもののみ受け入れている。

Q: 産廃のがれき類が増えたのは、災害の影響か?

A: 災害後の公共工事等で発生した廃棄物の影響。

会議終了後、現在の埋立状況を視察していただきました。

事業団では、今後も適正な廃棄物の受入れ、安全の確保に努めてまいります。



「大きく育て」ドングリの木植樹式

3月4日(木)午前10時30分から「エコアくまもと」管理棟玄関前において、南関町立南関第四小学校の3名の先生方をお招きし、ドングリ植樹式を行いました。

「エコアくまもと」で実施している環境学習の1つに「自然共生社会」をテーマとしたプログラムがあり、身近で親しみのある植物であるドングリを学習素材に活用しています。

その環境学習の一環として、平成28年(2016年)12月に南関第四小学校1、2年生児童(当時)とともに種まき体験を行い、約1年後の平成29年(2017年)11月に同校1、2年生児童(当時)とともに発芽した苗をポットから鉢へ移植する作業を行いました。これらの苗を「エコアくまもと」で管理し、植樹できる大きさに成長した苗をこの日、植樹しました。この植樹式を契機として、「エコアくまもと」が地域に根つき親しまれる施設となるよう、ますます努力して参ります。



休日開放～花見～のお知らせ

エコアくまもとでは、西側ため池周辺の自然環境エリアに「つつじ(南関町の町花)」と「桜(和水町の町木)」を植栽していますが、今年は以下の日程で休日開放を予定しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食は自粛のうえ花の鑑賞をお楽しみください。併せて施設見学、スジエビ釣り体験も実施する予定ですので、皆様お誘いあわせのうえご来場ください。

○日時 桜の花見 : 4月4日(日) 12時~15時

つつじの花見 : 4月29日(木・祝) 12時~15時

○対象 地元5地区を中心とした南関町、和水町の住民の皆様

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来場の際はマスクの着用をお願いします。また、飲食物の持ち込みはご遠慮ください。



ご来場の皆様にオリジナルエコバッグを呈呈!



「エコアくまもと」 覆蓋施設の埋立状況
(令和3年2月26日)

～産業廃棄物処分業許可の更新手続きを行いました～

産業廃棄物処分業許可及び特別管理産業廃棄物処分業許可が令和2年(2020年)12月で期間満了となるため、初めての更新手続きを行いました。

なお、今回の許可更新申請に併せ、遵法性や環境配慮の取組みなど、通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良産廃処分業者認定も取得しました。この認定により、通常5年の産業廃棄物処理業の許可の有効期間が7年(令和9年(2027年)12月24日まで)となりました。

また、1月26日には熊本県により環境保全協定に基づく立入検査と併せて、廃棄物処理法に基づく廃棄物処理施設の定期検査が行われ、「適合する」との結果を受けました。

編集・発行：公益財団法人熊本県環境整備事業団

〒861-0821 玉名郡南関町下坂下4771-3

TEL: 0968-53-8500

FAX: 0968-53-8510

☆ 皆さんが読みやすいようにできる限り日常的な表現の使用を心がけています。専門的な内容は個別にお問合せください。